

ともに歩む



新発田市立藤塚小学校
人権教育、同和教育便り
令和2年9月25日 No.2

教養部主催のPTA講演会が行われました

新発田市教育委員会
学校教育課 指導主事
坂井 智 様

演題「人権に目を向けた教育(子育て)の魅力」

～家庭と学校が一緒に進める～

「人権」を大切にすることは、世界的な目標として認知されており、2015年に国連で採択された「SDGs：世界を変えるための17の目標」にも挙げられています。「誰一人取り残さない、置き去りにしない。」が世界の今の目標です。今、私たちの身近な問題である新型コロナウイルスをめぐる私たちの行動についても、文部科学省からのメッセージをとおして、「誰もが感染する可能性のあるウイルスであり、感染した人が悪いということではない、科学的に事実を知ることの方が大切である。」と再確認することができました。



特色ある新発田の教育は、「しばたの心継承プロジェクト」、「食とみどりの新発田っ子プラン」、「人権教育、同和教育」の3つです。新発田市で進めている同和教育の概要は、人権感覚を高める「人権教育、同和教育」です。授業をとおして、かかわる同和教育の実践や人の心の痛みが分かり、差別や偏見を許さない態度を育成しています。

藤塚小学校は、今年度と来年度人権教育、同和教育の研究指定を受け、かかわり合いを大切に「人権学習」の実践や「人権学習」を支える支持的な学級風土づくりに取り組んでいます。学校での実践の様子や活動の写真から、様々な教育活動が子どもたちの人権感覚を高めることにつながっていることを再認識することができました。



そして、家庭が学校と一緒に家庭教育、子育てをするためにどんなことに取り組みればよいのかご助言をいただきました。子どもたちと生活するにあたり、明日への示唆に富む、素晴らしい講演会でした。

講師の坂井智先生、ありがとうございました。PTA 教養部の皆様、スムーズな運営ありがとうございました。



参加された方の感想をご紹介します



- 身近な視点から、人権について考える機会になりました。また、日々の生活におわれて、“楽しむ”ということを忘れがちになっていることに気付くことができました。これからの子どもとの生活にいかしていきたいです。
- とても心にひびく講演でした。子どもたちにも親の私たちにもこれからの人とのかかわりを意識していきたいと思いました。ありがとうございました。
- 人権について、無意識のうちに他人を否定するような感情をもってしてしまうことが、自分自身も時折あります。まずは、自分を振り返り、「ありがとう」を言葉にすることから始めてみたいと思いました。
- とても大切なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。学校、保護者、地域がつながりをもって、温かい環境の中で子供を育てることが「人権」というテーマにとってとても大切なこと、優しさ=たくましさを育てられるのだと学びました。これからの子育てに生かしていきます。
- 同和問題について、あまりよく分からないけれど、そういうことがあることにショックを受けました。違うことを受け入れる、認める、大事なことだと思います。親が正しく理解すれば、子供にも伝えられると思います。知らないことを分かってよかったです。
- とてもいいお話を聞いて、よかったです。人権について、改めて考える機会となりました。もっと大勢の方に聞いていただければいいなあとと思いました。
- 人権、同和問題について改めて関心を持ちました。子供と話し合う時間もとても大切なこと、感じさせられました。県内には100もの部落差別があることを初めて知りました。参加できてよかったです。ありがとうございました。
- 人権、同和問題など便りで見ることもありましたが、それほど関心もなかったが、今回藤塚小での取組を説明していただき、それぞれの活動が、人権、同和教育につながっているのだということが分かりましたし、心強くも感じました。かかわる教育、一緒になって解決していくということを学校・地域・保護者ともに取り組めたらと思います。まずは、かかわりの入口は挨拶から続けてやってみようと思います。

紙面の都合上、一部の方の感想掲載となりました。ご参加ありがとうございました。